

施設等凡例

- 避難所・避難場所
 - 要配慮者利用施設※
(浸水想定区域内)
 - 要配慮者利用施設※
(土砂災害警戒区域内)
 - 警察
 - 消防
 - 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 地下歩道
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道・主要地方道
 - 鉄道
- ※社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する方が利用する施設

土砂災害(特別)警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり

- 土砂災害特別警戒区域**
急傾斜地の崩壊等が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域
 - 土砂災害警戒区域**
急傾斜地の崩壊等が発生した場合住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域
- ※点線は調査済・指定準備中の警戒区域・特別警戒区域です。

洪水浸水想定区域

- 浸水深**
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m未満

- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
- 河岸浸食
 - 氾濫流

浸水深の目安

- 5.0m以上
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

この洪水浸水想定区域は、福島県で長瀬川が**1,000年に1度起こるかどうかの猛烈な豪雨**(想定最大規模の降雨600mm/1日)によって堤防が壊れる(堤防決壊)という最悪の事態を想定したものです。

【浸水想定区域図の前提条件】

『阿賀野川水系長瀬川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)』
 作成主体:福島県
 指定年月日:平成30年3月16日
 指定の前提となる降雨:長瀬川流域の1日総雨量 **600mm**

- 浸水想定区域図は水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深を示した図面です。
- 洪水浸水想定区域図は、指定時点の長瀬川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う浸水により長瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※より詳しくお知りになりたい方は、福島県土木部河川整備課のホームページをご確認ください。

福島県土木部河川整備課 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/>

